

開設の目的・概要 等				
<p>パーキンソン病（PD）は動作緩慢、静止時振戦、筋強剛等の運動症状を呈する。PDは超高齢化社会とともに罹患者数は増加し続け、PD診療のニーズは増大の一途であるのに対し、脳神経内科医数は十分には増えてはいない。このギャップを埋めるために、新しい診療支援システムの構築が望まれている。</p> <p>非侵襲型の高感度モーションキャプチャー装置である、一般医療機器として登録済みの「Mobile Motion Visualizer 鑑AKIRA（以下、AKIRA）」がある。これを用いて、定量性・検出力に優れたデジタル運動機能指標の確立を目的とし、下記項目を検討する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. PD患者におけるAKIRAデジタル指標の妥当性検証2. PD患者におけるAKIRAデジタル指標を用いた運動機能改善評価3. PD患者と非定型パーキンソン症候群患者との鑑別能評価				
区分	番号	学位論文	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年 ; 巻 (号) : ページ番号	国際共同
英文原著	1		—	